

レオブリッツ300J

道糸入力方法「棚センサーブライト編」

P0 指定入力

指定入力とは当社棚センサーブライトを巻くとき、データをインプットするだけで道糸入力できる便利な方法です。ただし、下記の場合のみ可能です。

・下巻きをしない場合 ・次ページの表に記載されている号数および巻き糸量の場合



やけどに注意！

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1.道糸をレベルwindに通して
スプールに結んでください。

※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通
せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず
糸止めピンに糸を結んでください。

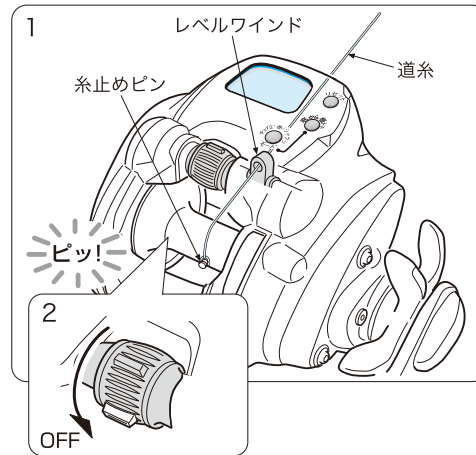
2.ジョグパワーレバーをOFFまで戻し
ます。

3.リールを通电させ、ジョグパワーレ
バーをMAXの位置まで倒し最後ま
で道糸を巻いてください。

※接続方法については電源とのつなぎ方を参照
ください。

※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。

※糸を巻き込まないように注意してください。



注意

・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。
糸があたらないようにご注意ください。

・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し
故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、
実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

(※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画
面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3
→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入
力可能です。

4.表示が **0.0** のときに

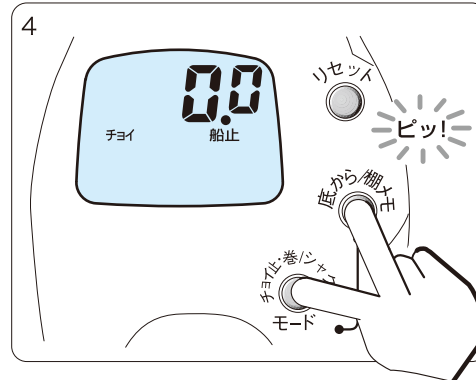
底から/棚×モ スイッチ と

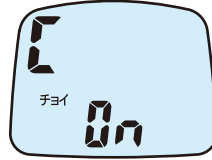
チョイ止・巻/シャクリ スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。

ライン設定画面になります。

※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そ
のまま押し続けると道糸設定画面にな
ります。

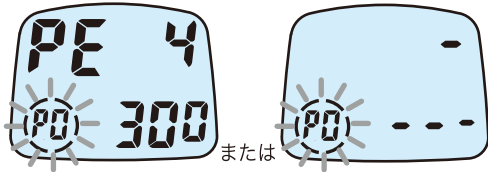




5.初期設定PE4号ー300mの画面になります。

([PO] が点滅します。)

※ここで一旦スイッチを離してください。



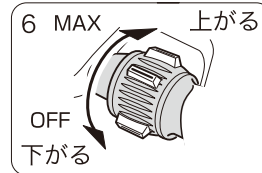
6.ジョグパワーレバーで数値をセットしてください。

- ・レバーを前に倒すと数値が上がります。
- ・レバーを元に戻すと数値下がります。

下表はデータ一覧表を示します。

データ一覧表

PE	3号	4号	5号
(左上の表示がPEの場合)	200m	200m	200m
	300m	300m	230m
	400m		



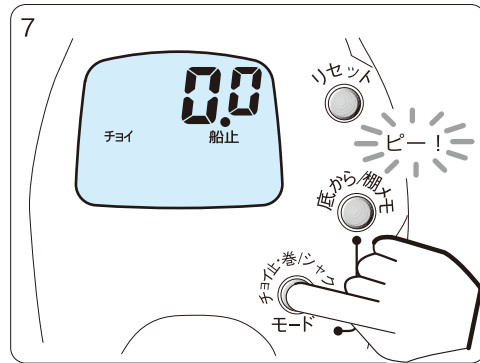
7.ジョグパワーレバーで数値がセットできたら、

チヨイ止・巻/シャクリ スイッチを押して完了です。

([0.0] m) に戻ります。

便利

※レオブリッツ300Jには、あらかじめタナセンサーブライト4号ー300mのデータが入力されています。タナセンサーブライト4号ー300mを巻く場合は、データのインプットは不要です。



道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

P1 糸長入力

リールに巻く糸の長さがわかっている時の便利な方法です。



注意

- ・道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。
- ・このリールはPEライン専用となっております。
フロロ・ナイロンラインはスプール破損の恐れがありますので、ご使用はおやめください。

1. 道糸をレベルウィンドに通してスプールの結んでください。
2. ジョグパワーレバーをOFFまで戻します。
3. リールを通电させてください。

4. 表示が **0.0** のときに

底から/棚メモ スイッチ と

チョイ止・巻/シャクリ スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。

※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。

5. 初期設定画面になります。

(**PO** が点滅します。)

※ここで一旦スイッチを離してください。

6. **チョイ止・巻/シャクリ** スイッチ

を1回押して糸長入力画面にします。

(**P1** が点滅します)

7. テンションを調整して、ジョグパワーレバーをMAXの位置まで倒し道糸を巻きます。

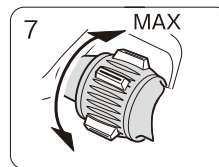
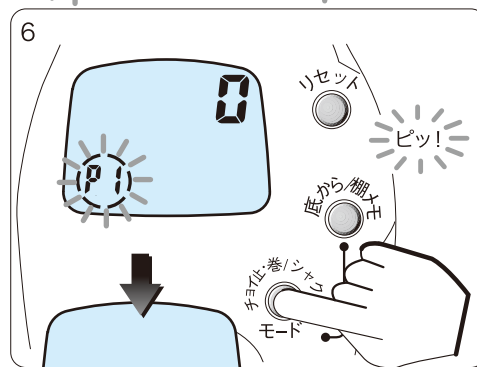
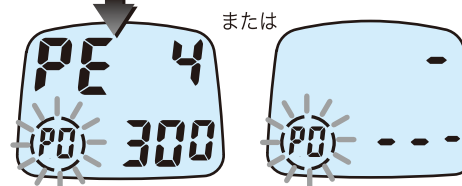
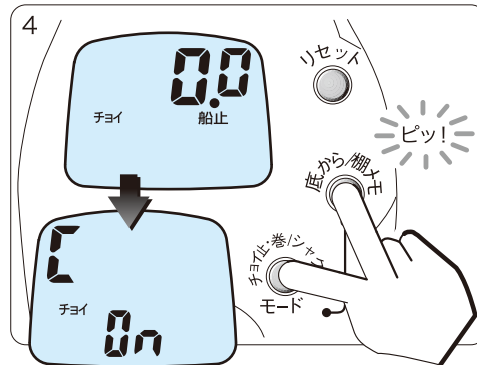
パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。

※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。

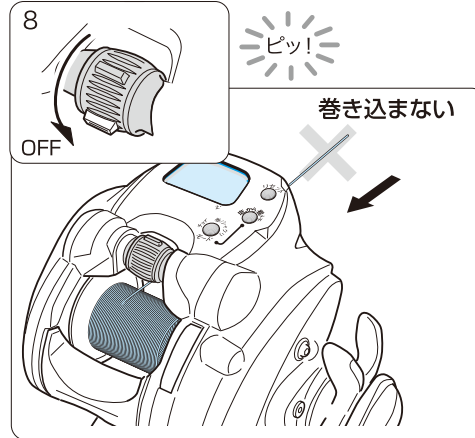
糸があたらないようご注意ください。

- ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

(※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

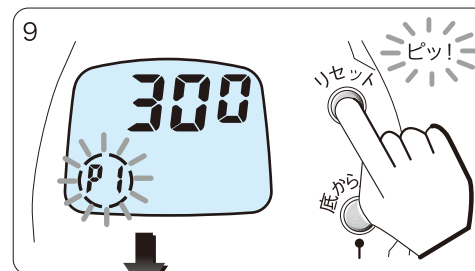


8. 巻き終わったらジョグパワーレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)

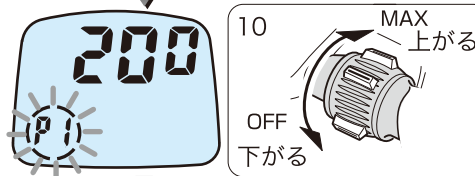


- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・この入力方法はPE2号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

9. **リセット** スイッチを2秒以上、表示が **300** mになるまで押してください。(300は初期値です。)

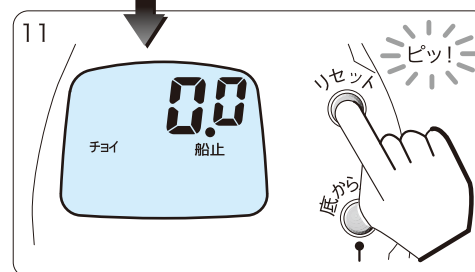


10. ジョグパワーレバーで、道糸の長さをセットします。(図は、200m入力した場合です。)(セットする数値は、10m単位です。)



11. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。アラーム音が鳴り、表示が **0.0** になれば完了です。

※ **Err** になった場合は、再度入力又は、引出し入力をしてください。



道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

ただし、長さのわかる道糸が100m以上必要です。

⚠ 注意

- ・道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。
- ・PE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・フロロ・ナイロンを巻く場合は、スプール破損の恐れがありますので、PE3号ー100mを巻いてからご使用ください。
(フロロ 5号ー200mを巻く場合の、適度な下巻量は、)

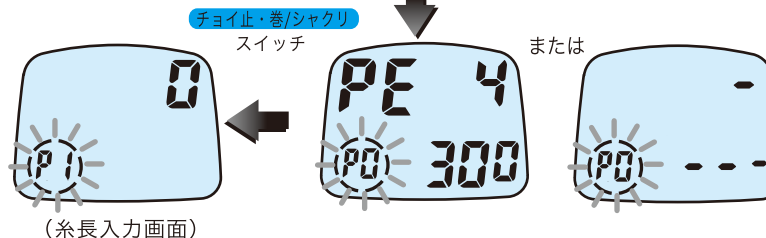
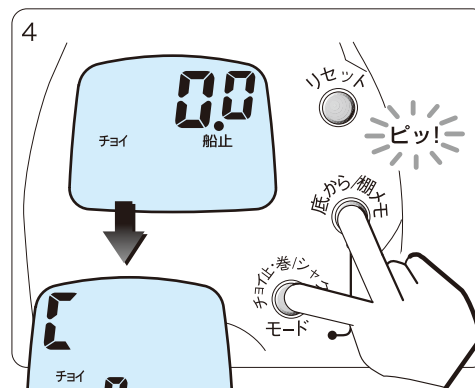
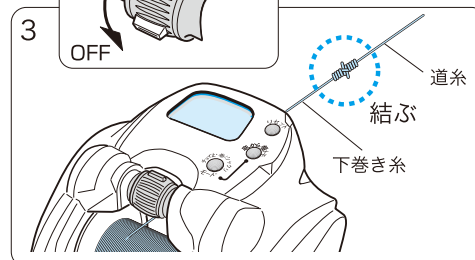
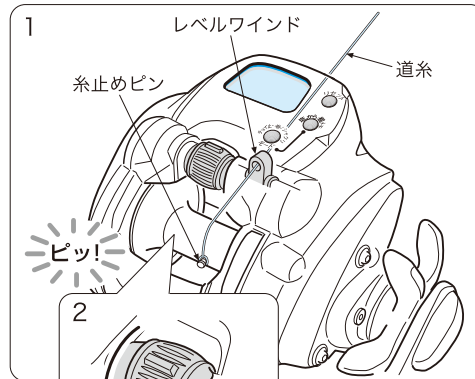
1.下巻をレベルワインドに通してスプールに結び、通电させてください。
※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

2.下巻用の糸を巻きます。
※ジョグパワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置(手前)に戻してから出力してください。

3.上糸をしっかり結びます。

4.表示が **0.0** のときに
底から/棚メモ スイッチ と
チョイ止・巻/シャクリ スイッチ
を同時に6秒間押し続けてください。

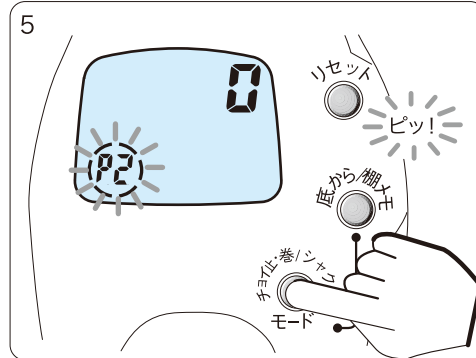
※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になり **PO** が点滅します。
次に **チョイ止・巻/シャクリ** スイッチを押すと **P1** が点滅します。



(糸長入力画面)

- 5.糸長入力画面になったらもう一度
チョイ止・巻/シャクリ スイッチ
 を押して下巻き入力画面にしてくだ
 さい。

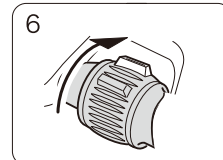
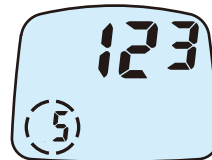
P2 が点滅します。



- 6.テンションをかけて糸色に注意しな
 がら残り100mになるまで道糸を
 巻いてください。

ジョグパワーレバーを倒すと **P2** (画面
 左下の数字) がテンション表示に変わり上
 のカウンターの数値が上がります。

パネル左下の数字が4~5になるようにテ
 ンションを調整してください。



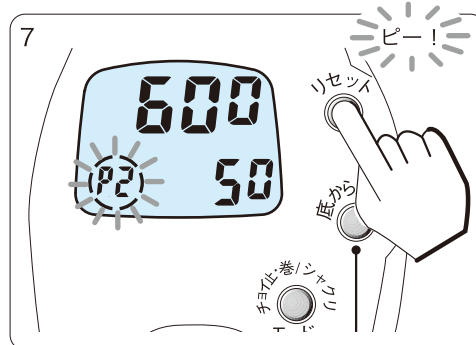
注意

- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

(※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が動き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押
 してください。

P2 が点滅し、下のカウンターが
50 になります。



- 8.テンションをかけて糸色に注意しな
 がら50m道糸を巻いてください。

道糸入力方法「下巻き入力」

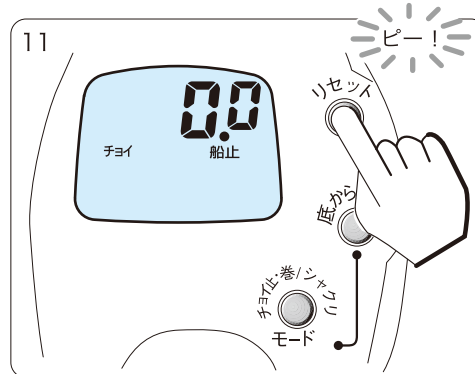
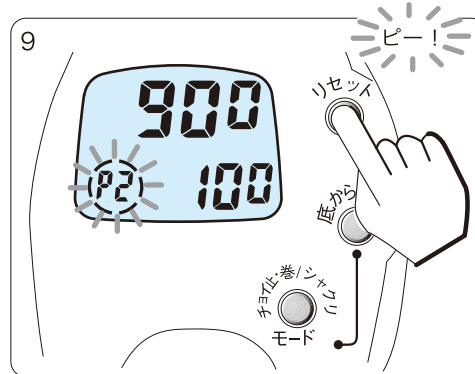
P2 下巻き入力

9. **リセット** スイッチを2秒以上押し
してください。

下の数字が **100** になります。

10. テンションをかけて糸色に注意し
ながら残りの50mを巻いてくださ
い。

11. **リセット** スイッチを2秒以上
押して表示が **0.0** m になり完了で
す。



注意

- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・PE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE1～2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

※ **Err** になった場合は、再度入力又は、引出し入力をしてください。

道糸入力方法「引出し入力」

P3 引出し入力

道糸を巻き終わった状態から引き出して再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

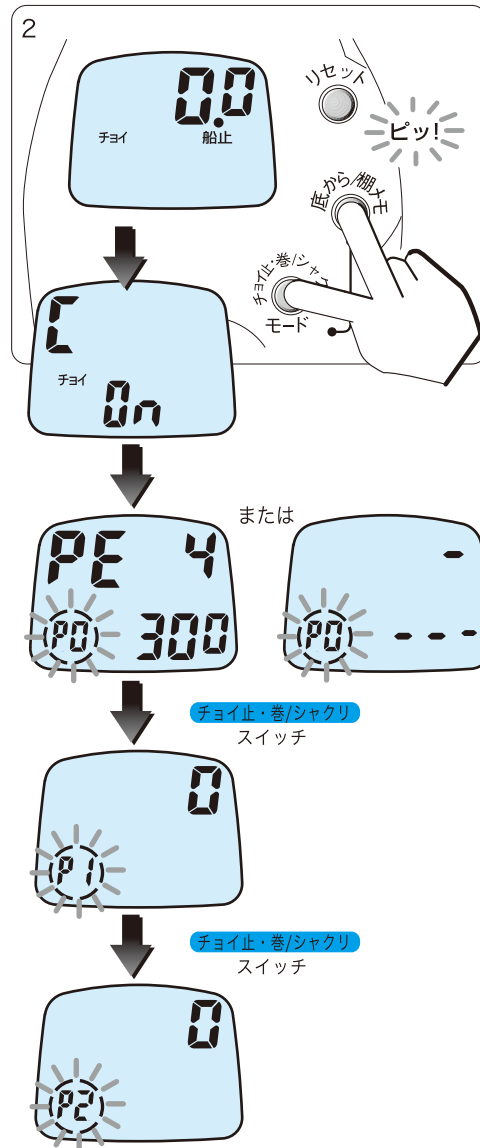


- ・PE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・フロロ・ナイロンを巻く場合は、スプール破損の恐れがありますので、PE3号-100mを巻いてからご使用ください。
(フロロ 5号-200mを巻く場合の、適度な下巻量です。)

1. 通電させてください。
2. **底から/棚メモ** スイッチ と **チョイ止・巻/シャクリ** スイッチ を同時に6秒以上押し続けてください。

※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になり **P0** が点滅します。

※ここで一旦スイッチを離してください。

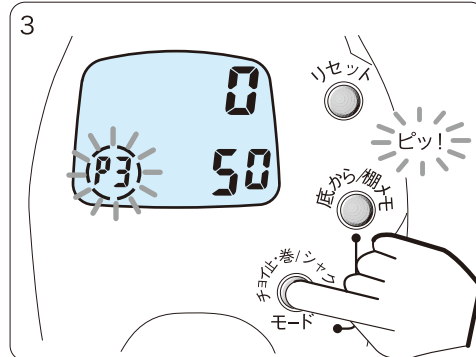


道糸入力方法「引出し入力」

P3 引出し入力

- 3.さらに **チョイ止・巻/シャクリ** スイッチを3回押して、引出し入力画面にしてください。

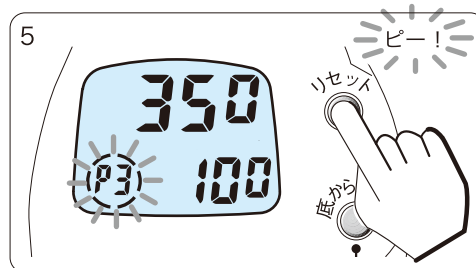
P3 が点滅します。



- 4.糸のマークに注意しながら、50m 引き出します。

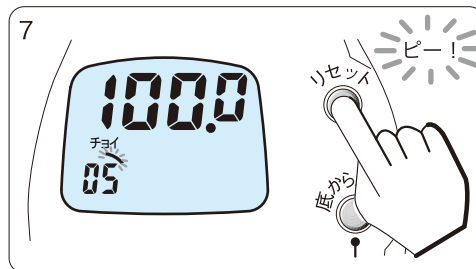
5. **リセット** スイッチを2秒以上押し てください。

下の数字が **100** になります。



- 6.糸のマークに注意しながらさらに 50m引き出して ください。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押し して表示が **100.0** mになります。



- 8.引き出した糸を100m巻き取り完了です。

注意

- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・PE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE1～2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

※ **Err** になった場合は、再度入力をして ください。